



Monthly Times

和歌山県立
串本古座高等学校串本校舎
平成28年(2016年)1月号

三学期始業式 ～1年の計は3学期の始業式にあり！！～



1月8日(金)三学期始業式が行われました。校歌斉唱後、愛須校長は式辞の冒頭で、まず嬉しいお知らせとして、演劇部が12月末の近畿大会で最終優秀賞に輝き、全国大会出場が決まったことを紹介しました。自らの体験をもとに全国大会出場の意義の大きさと、頂点ではさまざまな角度で物事を見ることが出来るため、見える景色が異なり、新たな挑戦のモチベーションとなりますと述べられ、他のクラブも頂点を目指して頑張ってもらいたいと激励しました。次に、新年にあたり、規律ある学校生活を送ることの大切さを説き、規律徹底のためには、まず心の姿勢を正し集団としての力を高めることが大切だと述べられました。最後に3年生は、残りわずかの高校生活を社会へ飛び立つための準備期間として有効に使うことを、2年生は最終学年を迎えるにあたり、やるべきことをしっかり見つけて欲しい。1年生はこの学校を担う学年になると思うのでその自覚を深めて欲しいと述べ、式辞を締めくくりました。

演劇部が全国大会へ ～8月に広島市で行われる高校総合文化祭に出場～

昨年12月に京都市で行われた近畿高校演劇研究大会で、演劇部の作品「扉はひらく」が最優秀賞を受賞しました。この受賞により8月に広島市で行われる全国高校総合文化祭「2016ひろしま総文」の演劇部門に近畿代表として出場することが決定しました。

〈藤井君への独占インタビュー〉

—— 最優秀賞を受賞した瞬間の感想は？

ちょっと夢のようで信じられない思いでしたが、審査員の方から高い評価をいただいて、とても嬉しかったです。

—— 演劇を始めたきっかけは？

もともと古座校舎の創造芸術部に所属していて、演劇部を兼ねている先輩から、人が足りないので手伝って欲しいと頼まれたのがきっかけです。

—— 全国大会に向けて抱負を聞かせてください

今後のスケジュールは、2月7日(日)に京都造形芸術大学から招待を受け、演劇公演会「演じる高校生」で作品を披露することになっています。また、4月と6月にも古座校舎で公演を予定しており、公演を重ねることで作品の完成度を高めて、8月の総合文化祭に臨みたいと思います。(終始笑顔で、力強く抱負を語ってくれました)

全国大会でも最優秀賞を目指して、頑張ってください！！



申年の先生 今年の抱負を伺いました！ ～菅井先生・井原先生～

【菅井崇文先生】

私は戊申に生まれました。ポシンと読みます。「十二支」と「十干」を合わせると60年に一度戊申がまわってくるようになります。今年は丙申、丙申も次は60年後ということですね。「申」といっても「猿」とは本当は関係ないようです。申は、干支の十二支の9番目になりますが、その意味は「伸ばす」で、「草木が十分に伸びきった時期で、実が成熟して香りと味がそなわり固く殻におおわれていく時期」なのだそう。また、「申(サル)」が「去る」という意味を表し、「悪いことが去る」や「病が去る」など、いいことや幸せがやってくるという年とする一説があります。ちなみに、干支の十二支の1番目の「子(ね)」は、「増える」でこれから子孫を増やそうとするタネ(種子)の時期を表し、干支の十二支の最後の12番目の「亥(い)」は「とざす」という意味で、新たな生命「子」が宿り、エネルギーが閉じ込められる時期なのだそう。今年もどうぞ皆さんにとって良い年でありますように。



【井原翔太先生】



昨年はこの串本古座高校（串本校舎）に新任として赴任した人生の再出発の年でした。初めて出会う生徒たち、先生方、地域の方々との関わりの中で刺激や新発見がたくさんあり、大きく変化のあった一年でした。しかし、それと同時にやりたかったこと、やるべきことを多く残してしまった年でもありました。そういった反省も含めて、2016年のテーマは「挑戦」にしようと思います！ありきたりの言葉ですが、挑戦し続けることは私たちにとってとても大切なことです。やりたいことは数え切れないくらいあるので、今年は精力的に行動して

いこうと思います！また、2016年が終わった時に振り返られるように個人的な目標をほんの一部だけ書いてみることにします。①新しい形の授業づくりに励む。②1年間で専門書を十冊読む。③年内に一度は海外へ行く。④料理のレパートリーを20増やす…等。まだまだ目標はありますが人知れず地道に努力していくつもりです。2016年を通して心身ともに成長し、周りの方々への感謝を忘れない。そんな一年にしていきたいと思います。

センター試験 8名が受験 ～受験は団体戦～

1/16（土）、17（日）実施の大学入試センター試験に串本校舎から8名が和歌山市の向陽高校で受験しました。国公立大学の2次試験は前期が2/25（木）～、中期が3/8（日）、後期が3/12（土）～の日程で実施されます。受験生のみなさん最後の最後まで、油断せず、焦らず、あきらめず、みんなが一つになって頑張り抜きましょう。最後に次の言葉を贈りたいと思います。「為せば成る、為さねば成らぬ成る業を、成らぬと捨つる人のはかなき」【頑張ればできることを頑張らないで、あきらめて何もしないことは愚かなことだ】（武田信玄）※一般的には、上杉鷹山（うえずぎ・ようざん）の「為せばなる…」が有名ですが、今回は武田信玄の「為せばなる…」にしました。



ビジネスマナー講座 ～自分の将来にわたるキャリアを見据えて～

1/18（月）川端総合事務所のキャリアコンサルタントの川端昭子さんを講師としてお招きし、就職が内定している3年生24名を対象にビジネスマナー講座を開催しました。挨拶の仕方、電話のかけ方、取り次ぎ方、名刺の渡し方等、すぐに役立つ実践的なスキルを学びました。講師の先生からは、「上司や同僚の皆さんからかわいがっていただき、職場に打解けて頑張ってください。」と激励いただき、講座を終了しました。皆さん、あと2ヶ月と少して社会人として、それぞれの事業所で働くことになります。今日の講座内容はその準備の一部分でしかありません。実社会では日々勉強の毎日です。頑張ってください。



【一口メモ】三猿（さんざる）～「見ざる・言わざる・聞かざる」知っていますか？～

「自分に都合の悪いこと、人の欠点や過ちなどは、見ない、聞かない、言わないことが良い」という意味だそうです。世界各地に三猿のことわざに似た表現があるそうですが、その起源はまだ分からないそうです。日本には、8世紀ごろ、それらがシルクロードを経由して中国から伝わってきたといわれています。ちなみに英語で三猿は Three wise monkeys というそうです。見ざる、聞かざる、言わざるを英訳すると、「see no evil, hear no evil, speak no evil」となるそうです。



2月行事予定

2月 5日（金）	漢字検定	2月17日（水）	1年インターンシップ
8日（月）	身だしなみ指導（※行事時刻表）	19日（金）	1年救急救命講習（5・6限）
10日（水）	マラソン大会	22日（月）	高校入試（一般出願）
15日（月）	交通安全指導 1年アセンブリー	23日（火）	高校入試（一般出願）
16日（火）	1年インターンシップ	26日（金）	3年登校日
	2年修学旅行（～19（金））	29日（月）	学年末考査1日目
	3年登校日（県政おはなし講座）		卒業式予行（※3/1卒業式）